

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表日：2026年 2月20日

事業所名：運動特化型児童発達支援・放課後等デイサービス ポレポレ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0	運動スペースや机上で活動を行うスペースに分かれて環境設定を行なっています。さらに利用時間を分けることで、スペースを確保できるように工夫しています。
	2 職員の配置数は国の基準を満たしているか	10	0	0	個別対応が必要なお子さんへすぐ対応できるよう職員配置を考えています。専門的支援の実施や経験豊かな職員配置による支援の質の向上を図っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	10	0	0	事務所内は、段差はなく過ごしやすくなっており、休憩する場所や運動器具、手指訓練の道具の置き場所などを分けて整理しており、職員や子どもにわかりやすいように工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	毎日の清掃、使用後の道具や器具の消毒、定期的に換気を行う等、事業所内の清潔を保てるように心掛けています。1つの活動を終えるごとに使用した物を片付けて、視覚的にも動きの妨げにもならないように配慮しています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	9	1	0	個室はありませんが、個別の空間を作れるようパーテーションなどを活用しており、自由時間には、お子さまは自分の希望の場所で過ごしています。クールダウンできる空間やリラックスするためのクッション、マット等を用意し、状況に応じて使用しています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	0	毎日、活動の振り返りと次の日の活動を定める会議を行い、ひとりひとりに合わせた療育内容を準備しています。支援計画会議やモニタリング会議には直接支援する職員全体で参加し、PDCAサイクルを回しながら、質の高い療育に繋がるよう努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	10	0	0	保護者の方に年1回アンケートを実施し、その結果を職員に周知しています。会議の中で改善点や見直しの視点で話し合い、頂いた内容は可能な範囲で業務改善に繋がるようにしています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	10	0	0	会議や面談、研修の中で、幅広く職員の意見を聞き取りながら、業務改善へと繋げています。どのようにしたら効率よく業務遂行できるかを考えて改善を行っています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	0	0	虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会では、毎年、外部の方を招いて会議を行い、ご意見をいただいています。他者視点でのアドバイスを基に、気づきや改善、支援の質の向上に繋がるように努めています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	9	1	0	法人内での研修は行っていますが、外部の研修は業務の都合上受講しにくい場合が多いです。事業所内では全体研修や職種別の研修、また可能な範囲で外部での研修(オンラインを含む)を受け、職員の質の向上に繋げています。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	10	0	0	法人のホームページで、支援プログラムを公表しております。支援プログラムについては、職員全体で点検や見直しを図りながら作成しました。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0	定期的に行っている面談や担当者会議にてお子さまの様子や保護者のニーズを丁寧に向かい、支援計画を作成しています。直接支援に係る全職員が参画して支援計画会議を実施しています。今後は、お子さま本人の思いを深く反映させることができるように努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	10	0	0	計画書を作成するときには、必ず、職員全員で会議を行い、支援内容を共有しています。原案作成の段階で、支援目標や内容について意見を出し合いながら作成しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	それぞれのお子さまの支援目標にそった記録を日々行い、保護者の方に公開しています。そのため、職員は支援計画の目標や内容を把握してお子さまの支援にあたり、支援後は必ず振り返りを行って次回以降の支援に繋がっています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	10	0	0	NCプログラムや感覚プロファイル(SP)、S-M社会生活能力検査などフォーマルなアセスメントを必要に応じて実施しています。また、活動時の様子などインフォーマルな情報についても活動後の会議などで情報の共有を行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	0	本人支援については児童発達支援ガイドラインに示されている5領域を網羅しながら支援内容を設定しています。家族支援や移行支援、地域支援についても目標や内容を支援計画に記載しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0	毎日の会議の中で、職員全員で活動プログラムを立案しており、意見を擦り合わせることで、より良い支援ができるよう活動プログラムを組んでいます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	0	同じ活動内容が続かないように配慮するとともに、利用するお子さまの課題に応じた活動プログラムとなるように考えています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか	10	0	0	お子さまの様子を見取り、力を伸ばせるように個別と集団の活動を準備して支援しています。専門職による個別活動、小集団によるグループ活動を必要に応じて組み合わせながら活動を実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	10	0	0	療育の流れ、主担当の動き、補助の動きなどを確認し、スムーズに療育が行えるよう、毎回、事前に話し合いをしています。

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	0	翌日、記録と共に振り返りを行い、次回の活動に役立てています。全体で会議を実施し、支援の振り返りの中でお子さまの現状や様子、成長や課題について意見を重ね、療育内容への反映を行っています。
	22	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	0	お子さまの様子を見落とさないように記録の担当を決め、担当以外にも広く聞き取りを行いながら詳細に記録しています。記録後は職員全体で読み合わせを行い、分かりやすく丁寧に記載していくことを心掛けています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	10	0	0	年3回のタイミングでモニタリングを実施しています。支援目標に応じてお子さまの様子を判断し達成状況の確認をしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか	7	3	0	毎回の利用時に複数の基本活動を組み合わせることは難しいですが、放課後や長期休暇に合わせて活動内容を考えています。地域と繋がる機会が少ないため、今後は力を入れていきたいと思ひます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	10	0	0	相談交渉の力を伸ばすため、話し合いの時間をもち、自己決定の機会を増やしています。お子さま同士での意見交換や主張できる時間を作っており、話しやすい環境を日頃から作るようにしています。また、長期休暇にはお子さまたち自身で活動を立案、計画することを取り入れています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	9	1	0	サービス担当者会議には主に児童発達支援管理責任者が参加しています。必要に応じて専門職なども会議に参加し、お子さまの特性や支援について話す機会の確保を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	7	3	0	必要に応じて学校と連携を図っています。重度の身体障害のお子さまの利用等がなく、医療機関との関係が築けておりません。今後はもっと医療機関と連携を図りたいと思ひます。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0	0	下校時刻の連絡は、保護者の方から教えていただいています。必要に応じて学校に連絡をとらせていただき、送迎時の対応や下校時刻の確認などを行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2	0	必要時には、会議を行い情報共有をしています。就学前から利用しているお子さまもいるため、引き続きの支援を実施していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	4	0	必要であれば行いたいと思ひます。現在、学校を卒業することで移行に至ったケースがなく、情報提供の場面はございません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	2	4	4	児童発達センターと繋がる機会が現在はなく、今後は、研修受講等の機会を作りたいと思ひます。

関係機関や保護者との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	6	民間の児童クラブと併用のお子さまもおりますが、交流の機会を持つことができておりません。長期休暇には地域の公園や公共施設等を利用した活動を取り入れています。
	33	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	4	積極的な参加ができていません。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	0	日々の記録や個別でのLINEや情報共有システムなどの連絡手段を通してやり取りしています。利用時の様子を記録として保護者に毎回お伝えすることで、発達状況や課題に対して共通理解が進むように努めています。
保護者への説明責任等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	5	4	1	情報共有システムを活用し地域の研修のご案内を行なっています。ご相談があった際には、個別に対応をさせていただいております。ペアレントトレーニングや家族が参加できる研修などの機会の確保には至っておりません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	0	新規契約時に、丁寧に説明をしています。支援プログラムについても、日々の記録の中で、お伝えしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	10	0	0	保護者ニーズ、お子さま本人の考えを擦り合わせながら支援計画を作成し、作成後は支援目標や内容について説明し、同意をいただいた上で放課後等デイサービスを提供しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	10	0	0	放課後等デイサービス提供前に面談等の時間を設け、保護者の方に必ず支援計画を提示して説明を行っております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	面談時と合わせて、個別でのLINEや情報共有システムの保護者との連絡機能でご相談を受けた際には、対応の仕方やご家庭でできる取り組みなどについて、適宜ご助言できるようにしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか	1	2	7	現在は父母会や保護者会等を開催しておりません。保護者の方のご意見を伺いながら検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	苦情受付窓口を設定し重要事項説明時にご説明しております。苦情があった場合には、迅速かつ丁寧に対応をしています。管理者に報告し、職員にも周知することで体制を整えております。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	月1回程度の通信の発行、インスタグラムを活用して、療育内容をなどを発信しています。	

保護者への説明責任等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか	10	0	0	通信や情報発信の中で写真を使用する時は、個人と特定されないようになっています。会議資料や支援に関する内容は個人ファイルに綴じ、鍵付きの引き出しに保管しております。個人情報の取扱いについては、利用開始時に説明および同意を求めた上で対応させていただいています。
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	0	視覚的、聴覚的支援も取り入れて、個々に応じたわかりやすい方法での伝達を心掛けています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	7	事業所の行事を地域住民に発信できておりません。今後の課題として、地域交流を持つ機会を作りたいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	0	毎年計画的に実施しております。毎月の全体研修の中で、各マニュアルについて職員に周知し、訓練等も計画に沿って行なっています。保護者の方には、利用開始時に説明を行ったり、避難訓練実施時には情報を発信したりして情報共有を図っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	毎月、様々な非常災害を想定して避難訓練を実施しております。実際に起こった時に対応できるよう職員全体でシュミレーションを行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	0	利用開始時や面談時に随時確認させていただいています。医療機関受診時の定期的な服薬の情報についてもいただいております。服薬の変更時には処方箋をいただいている方もおります。
非常時の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	0	利用開始時のアセスメントにてアレルギーについての問いの項目に記載させていただいております。アレルギーがある場合は把握できるように職員間で情報共有しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	10	0	0	日々の安全点検を行っています。職員全体で安全計画の共有や定期的な訓練を実施しております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	10	0	0	避難訓練等を実施した際は情報共有システムを活用して発信しています。災害が起こった時の避難先や緊急時の連絡について共有を図っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	10	0	0	職員間で情報共有を行い、改善に繋がっています。作成したヒヤリハット事例はファイルに綴じて保管するとともに職員で回覧し同じことを繰り返さないように意識づけに繋がっています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	毎年、市や県主催の虐待防止研修に参加して職場への伝達研修を実施して意識改革を図っています。事業所内研修においても、虐待にあたる行為がないか小さな気付きの確認作業をして振り返りを行なっています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	0	0	職員でやむを得ない状況や利用児童の様子、代替案等を検討しながら身体拘束に関する研修や会議を実施しています。必要時には事前に説明を行い、了承していただいた時に支援計画に明記しています。